

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 3月 3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103676		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホーム よってきんさい本浦		
所在地	〒734-0047 広島市南区本浦町27番18号 電話082-508-2626		
自己評価作成日	令和3年2月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103676-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年3月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

平成27年に1ユニットから2ユニットへ新築し6年目になります。家庭的な環境の中で利用者様のペースや思いを大切に、生き活きと過ごせるよう支援しています。食事は毎食、出汁からとり手作りし家事作業を一緒にしています。週1回は刺身があり、行事に合わせた食事もしみのも一つです。雨降りでない限り、毎日、歩行機能維持と気分転換を兼ねて散歩に出かけています。地域の方々との交流や風景を楽しんでいます。ホームとして、希望時看取りを行っています。昼夜、看護師を配置し、職員、家庭医と協力し対応しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人の理念・5項目の方針に基づいて利用者を支援している。家庭的な環境や支援の中で、利用者は自分のペースで過ごしている。美味しい食事を提供したいとの思いから、手作り料理を提供し、朝はパンの選択も出来、医師の許可があれば飲酒も出来る。おやつを利用者と一緒に作ったり、お好み焼き・ピザなどの出前を楽しむこともある。事業所には看護師を配置し、夜間は、一人が常駐する体制である。看護師は介護職員の相談に応じ、吸引・点滴などの医療対応を行っている。重度化した際には、家族の意向を確認し、医師が対応可能と判断したら看取りを行う方針で、利用者に応じた支援を行っている。

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	美泉開設当初の理念をもとに、事業所で年間目標をたて半年で振り返りを取り組んでいる。毎朝、申し送り時に唱和することにより意識づけしている。	法人の理念・方針がありそれに基づいて実践している。毎朝の申し送りで、理念を唱和している。事業所年間目標を職員と相談して作成し、半年ごとに評価している。今年度の目標は「明るく一日を」である。新型コロナ感染対策で、外出が出来ない日々であるが、皆で明るく過ごしたいとの思いで考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し地域の行事に参加している。いきいきサロンにも参加しているが、今年度は感染予防対策の為、ほとんどの行事が中止になり、散歩時の挨拶程度になっている。	町内会に加入し役員を引き受けることもある。月1回、地域で開催される「いきいきサロン」では、体操や作業などを行い、職員・利用者が参加している。夏祭りやとんどの地域行事にも参加していたが、新型コロナ感染予防の為に中止となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の会合や相談に来所された時などに介護方法や認知症に対する対応を説明している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所での行事や入居者様の様子など、会議で報告している。町内の活動や予定を聞き、参加できる時は一緒に参加し楽しんでいる。	新型コロナウイルス感染対策実施中であるが、運営推進会議は、利用者・民生委員・地域包括支援センターが参加して定期的に開催している。感染防止対策の為に、家族の面会を禁止しているので、家族の参加はない。「認知症カフェ」をこの施設で開催することを提案し、検討中である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	法人内の他の事業所で医療的ケアやターミナル期になった入居者に対し、市町担当者のアドバイスや支援を受け、看護師を配置している当事業所に受け入れ対応した。	地域包括支援センターは運営推進会議・いきいきサロンに参加していて、その際に意見交換している。地域包括支援センター主催の「徘徊パトロール」研修に協力している。市からの要請で、医療的なケアを必要とする利用者を受け入れたことがある。	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束排除宣言を掲げ、研修を行い身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は日中はせず、言葉による拘束にも注意を払い日々のケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人は「身体拘束排除宣言」を掲げ身体拘束をしないケアに取り組んでいる。年1回、研修を行い、「言葉による行動抑制をしない」「点滴中でも拘束をしない」を実践している。</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、「身体拘束廃止委員会」の開催を期待する。3か月に1回、「身体拘束委員会」を開催し、事業所内の身体拘束の状況をまとめて、運営推進会議で報告することを期待する。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員全員が研修を受け、お互いに注意し合い虐待防止に努めている。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修で学ぶ機会を持ち、必要時には上司に報告、相談している。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には重要事項説明書により説明を行っている。理解、納得の上で署名、捺印頂いている。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。面会時を利用して意見や要望を伺っている。必要時には管理者会議で検討し、家族や入居者の意向を反映させている。</p>	<p>家族の面会、花見や敬老会に家族が参加していた際に家族の意見を聞いていた。しかし、新型コロナウイルス感染防止策で家族の面会を禁止しており、電話での家族への状況報告の際に、意見を聞いている。家族からの要望は、「申し送りノート」に記録し、共有している。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやミーティングで意見を聞く機会を設けている。管理者会議で検討し、業務に反映させている。</p>	<p>2か月に1回、職員会議を開催し、その際に職員の意見を聞いている。職員の意見により、利用者が通院する際には職員を配置して、支援を行うようにした。午後、記録業務を行う職員を支援する為に、他の職員が利用者のケアをする体制を整えている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員はいつでも意見や希望を伝える事が出来る。研修や勉強会の為、勤務調整を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内外の研修計画を立て、取り組んでいる。日々、勉強との思いで管理者や先輩職員が後輩に助言しながら、又自分も知識を得ながら取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>代表者は全国ネットワークに加入し、施設見学や交流、研修の機会を作り職員の意識改革や質の向上に努めている。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に訪問し、本人や家族より情報を得ている。事業所の見学をして頂き、ためしでお泊り頂く事もある。</p>		

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前や入居時面談で、家族から困っている事、不安な事等伺い、相談にのりながら関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前面談で情報を得た後、その方の必要とする支援を上司に報告、相談し検討しサービスの提供に努めている。必要時には、他のサービスを提案している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一緒に生活しているという思いで、共に家事や作業を行い、ホームの一員であると感じられるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時や毎月の手紙でホームでの様子を伝え、相談しながら意見を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居者の馴染みの病院や理容院に付き添って出かけている。希望があれば、墓参りに付き添うなど可能な限り支援している。	今まで通院していた病院への受診、馴染みの理美容院へは職員や家族が付き添って、馴染みの関係が継続するように支援している。	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングやソファの席は相性を考慮し座って頂いている。職員が間に入り、入居者同士が関わりあえるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院や転居時には介護サマリーにより情報提供を行い、支援が継続できるよう努めている。必要時には電話で相談を受けている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で、会話や行動から思いや意向の把握に努め、困難な場合には表情などから思いをくみ取り、記録し話し合っている。	日々の会話から利用者の思いを把握した際には、「介護記録」に記録し、申し送りして報告している。料理が好きな利用者には、下準備やテーブル拭きを行うことをケアプランに組み込んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や入居前の関係者、本人から聞き取りし記録している。生活する中で会話などから得た情報など記録を積み重ね把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日共に過ごしていく中で、状態や様子を記録し、アセスメントすることで状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式でアセスメントしている。入居者、家族、家庭医、職員の意見や希望を聞き介護計画を作成している。</p>	<p>利用者ごとに担当者を配置し、担当者は4か月に1回、アセスメントを行う。計画作成者が、モニタリングを行う際には、担当者の意見を参考に行っている。ケアカンファレンスでは、看護師も参加し、必要であれば医師の意見も提出され、ケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に生活日誌に記録している。介護計画の実践を意識し、また一方的な記録にならないよう気を付けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者や家族の意見を尊重し、その時の状況に合わせて支援できるよう取り組んでいる。入院時や通院時の付添や、洗濯物を届けたりしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近所の商店に買い物に出かけたり、地域の散歩により顔を覚えて頂いたおかげで、一人で出かけた入居者に気づいてもらい事なきを得たことがある。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の主治医を希望される場合は継続し受診して頂いている。特にない場合には、入居者、家族の理解を得て事業所の家庭医の診察を受けて頂いている。病状により専門医を紹介して頂き受診している。</p>	<p>利用者と家族の希望によりかかりつけ医を決めている。今までの主治医をかかりつけ医とする利用者もいるが、大部分の利用者は協力医をかかりつけ医としている。協力医は、定期的に往診して利用者の健康状態を把握している。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>体調の変化があった場合には、看護師に連絡し連携を図っている。必要時には家庭医に連絡し適切な処置が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には付添、経過を伝えている。介護サマリーにて日頃の様子なども伝え、入居者が安心して入院できるように支援している。入院時より連携室と連絡を取り退院に向けて取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化した場合や看取りについて説明している。状態の変化に応じて、看護師や家庭医より説明し入居者や家族の意思の尊重に努めている。職員と対応について話し合いながら取り組んでいる。</p>	<p>入所時に、「重度化した場合における対応に係る指針」を説明している。重度化した際には、家族の意向を確認し、医師が対応可能と判断したら看取りを行う方針である。看護師が常時、夜勤をして支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成し、研修を行うことにより対応できるよう努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>法人全体で連絡体制を組み、災害時には近隣の職員が駆けつける体制にしている。年二回の避難訓練をし、避難経路や連絡の確認をしている。法人で備蓄を行っている。</p>	<p>年2回、避難訓練を行うが、その内1回は、夜間を想定した訓練である。近隣の介護施設と災害時の避難に関する協定を結び、町内会との協力体制も整えている。災害に備えて、職員連絡網を整備している。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	毎年度、研修を行い特に言葉がけに対しては、日々気を付けるよう代表者より指導を受けている。排泄介助時など、プライバシーや自尊心に配慮した声掛けをしている。	年1回、「人権尊重と接遇」の研修を実施している。その際には、「言葉づかい」について、各事業所の事例を紹介し、利用者に適した「言葉づかい」を討議している。トイレでの排泄では、トイレ内が見えない対応を行い、入浴時のプライバシーにも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	毎日の生活の中で、飲みたいもの、食べたいもの、量、着たい服、したい事、など入居者が自己決定出来る場面を作り働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課は決まっているが、その中でも体調や気分に合わせて、入居者のペースで過ごせるよう取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの理容室へお連れし、いつもの髪型にしてもらったり、行事に合わせてお化粧品や少しいい服で楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	三食手作りし、季節や入居者の希望を取り入れた献立にしている。食材の準備、盛り付け、片付けなど、入居者の力にあわせ作業をしている。時には出前を楽しんでいる。毎年、手作り弁当で花見に出かけていたが、今年度は中止になり、事業所内で花見を行った。	毎食、手作りの食事を提供している。利用者の誕生日には、利用者の希望する食事を提供している。ホットケーキやぜんざいを利用者と一緒に作り、時には、お好み焼き・ピザなどの出前を楽しむこともある。野菜の下準備や盛り付けを利用者と一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調や摂取状況に合わせて、量や形、大きさを調整し提供している。水分量や摂取量を記録し確認し、不足しないよう気を付けている。カロリー不足が続くときには家庭医に相談し高カロリーの飲み物やゼリーなどで補っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っている。自力困難な入居者には介助している。清潔保持と共に口腔内の観察を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりのパターンに合わせてトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレを設置し誘導を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握し、出来るだけトイレで排泄するように支援している。夜間にトイレに行くことが困難な利用者には居室にポータブルトイレを用意している。出来るだけオムツを使用しないように取り組み、日中は、布パンツとパットを使用し、夜間のみリハビリパンツを使用している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表で排便状況を確認している。起床時、牛乳を飲用したり散歩などの運動を心掛け、便秘の予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴できる。最低でも週三回は入浴している。季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を楽しまれている。</p>	<p>週3回、入浴を実施し、1Fにはリフト対応の浴室があり、利用者に応じて利用している。利用者の希望で同性介護を行っている。大みそかには、利用者全員が入浴し、新年を迎えている。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や希望に合わせて午睡の時 間を設けている。日中しっかり活 動し夜間の安眠へとつながるよ う努力している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の説明書きで把握している。 臨時薬が出たときには申し送り ノートに記入し、全職員が把握 し、薬効の観察をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりのできる事や得意な 事を把握し、役割として一緒に 行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>体調や天候に合わせて散歩に出 かけている。感染症前は家族と 外食や墓参り、結婚式などに 出かけ楽しまれていた。現在 は控えている。</p>	<p>天気が良い日は、出来るだけ散 歩するようにし、車椅子の利用 者も職員が介助して散歩して いる。花見や遠出のドライブを 行っていたが、今年度は新型 コロナ感染対策の為に中止と なっている。食材の買い出しに 利用者が同行することもあり、 希望があれば買い物の外出に 同行している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>預り金として出納帳を作り家族 より預かっている。外出時には 自分で支払いが出来るよう支 援している。</p>		

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話機の子機を使用し、自室でゆっくり話ができるよう配慮している。手紙を希望される場合には、準備と投函の介助をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日差しが強い時にはレースのカーテンで日差しを和らげ、エアコンやヒーター、窓を開ける事で室温の調整を行っている。季節に合わせた壁画や花を飾り楽しめるよう支援している。日中は照明を落とし、自然の明かりで過ごしている。	リビングなどの共有空間と居室の室温・湿度・換気に注意を払い、適切な状態に調整している。新型コロナウイルス感染防止の為に、窓を開けての換気を行っている。ひな祭りには、桃の花や雛飾りを飾って、季節感を感じて頂くように取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファやリビングのテーブルなど、個々が過ごしやすいよう離れた場所に設置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には入居者の使っていたタンス、机、仏壇などを持ち込み、好みの花や写真を飾り、居心地の良い居室作りを心掛けている。	居室の入り口には、手作りの表札が掛けられている。利用者が居心地よく過ごせるように、それぞれ工夫している。家族の写真や利用者の懐かしい写真を飾ったり、仏壇を持ち込む利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	玄関には椅子を置き、座って自分で靴が履けるようにしている。廊下や階段には手すりを設置しトイレや浴室は表示している。		

V アウトカム項目(一階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	美泉開設当初の理念をもとに、事業所で年間目標をたて半年で振り返り取り組んでいる。毎朝、申し送り時に唱和することにより意識付けしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し地域の行事に参加している。いきいきサロンにも参加していたが、今年度は感染予防対策の為、ほとんどの行事が中止になり、散歩時の挨拶程度になっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の会合や相談に来所された時などに介護方法や認知症に対する対応を説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所での行事や入居者の様子など、会議で報告している。町内の活動や予定を聞き、参加できる時は一緒に参加し楽しんでいる。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	法人内の他の事業所で医療的ケアやターミナル期になった入居者に対し、市町村担当者のアドバイスや支援を受け、看護師を配置している当事業所に受け入れ対応した。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束排除宣言を掲げ、研修を行い身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は日中はせず、言葉による拘束にも注意を払い日々のケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員全員が研修を受け、お互いに注意し合い虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修で学ぶ機会を持ち、必要時には上司に報告し相談している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には重要事項説明書により説明を行っている。理解、納得の上で署名、捺印頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。面会時を利用して意見や要望を伺っている。必要時には管理者会議で検討し、家族や入居者の意向を反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやミーティングで意見を聞く機会を設けている。管理者会議で検討し、業務に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員はいつでも意見や要望を伝える事が出来る。研修や勉強会の為、勤務調整を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内外の研修計画を立て、取り組んでいる。日々、勉強との思いで管理者や先輩職員が後輩に助言しながら、又自分も知識を得ながら取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>代表者は全国ネットワークに加入し、施設見学や交流、研修の機会を作り職員の意識改革や質の向上に努めている。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に訪問し、本人や家族より情報を得ている。事業所の見学をして頂き、試してお泊り頂く事もある。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前や入居時面談で、家族から困っている事、不安な事等伺い、相談に乗りながら関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前面談で情報を得た後、その方の必要とする支援を上司に報告、相談し検討しサービスの提供に努めている。必要時には、他のサービスを提案している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一緒に生活しているという思いで、共に家事や作業を行い、ホームの一員であると感じられるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時や毎月の手紙でホームの様子を伝え、相談しながら意見を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居前の馴染みの病院や理容院に付き添って出かけている。希望時には墓参りに付き添うなど可能な限り支援している。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングやソファの席は相性を考慮し座って頂いている。職員が間に入り、入居者同士が関わりあえるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院や転居時には介護サマリーにより情報提供を行い、支援が継続できるよう努めている。必要時には電話で相談を受けている。		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で、会話や行動から思いや意向の把握に努め、困難な場合には表情などから思いをくみ取り、記録し話し合っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や入居前の関係者、本人から聞き取りし記録している。生活する中で会話などから得た情報など記録を積み重ね把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日共に過ごしていく中で、状態や様子を記録し、アセスメントすることで状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式でアセスメントしている。入居者、家族、家庭医、職員の意見や希望を聞き介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に生活日誌に記録している。介護計画の実践を意識し、また一方的な記録にならないよう気を付けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者や家族の意見を尊重し、その時の状況に合わせ支援できるよう取り組んでいる。入院時や通院時の付添や、洗濯物を届けたりしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近所の商店に買い物に出かけたり、地域の散歩により顔を覚えて頂いたおかげで、一人で出かけた入居者に気づいてもらい事なきを得たことがある。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の主治医を希望される場合には継続し受診して頂いている。特にない場合には、入居者、家族の了解を得て事業所の家庭医の診察を受けて頂いている。病状により専門医を紹介して頂き受診している。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	体調の変化があった場合には、看護師に連絡し連携を図っている。必要時には家庭医に連絡し適切な処置が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には付添、経過を伝えている。介護サマリーにて日頃の様子なども伝え、入居者が安心して入院できるように支援している。入院時より連携室と連絡を取り退院に向けて取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合や看取りについて説明している。状態の変化に応じて、看護師や家庭医より説明し入居者や家族の意思の尊重に努めている。職員と対応について話し合いながら取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成し、研修を行うことにより対応できるよう努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	法人全体で連絡体制を組み、災害時には近隣の職員が駆けつける体制にしている。年二回の避難訓練をし、避難経路や連絡の確認をしている。法人で備蓄を行っている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	毎年度、研修を行い特に言葉がけに対しては、日々気を付けるよう代表者より指導を受けている。排泄介助時など、プライバシーや自尊心に配慮した声掛けをしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	毎日の生活の中で、飲みたいもの、食べたいもの、量、着たい服、したい事、など入居者が自己決定出来る場面を作り働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課は決まっているが、その中でも体調や気分に合わせて、入居者のペースで過ごせるよう取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの理容室へお連れし、いつもの髪型にしてもらったり、行事に合わせてお化粧品や少しいい服で楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	三食手作りし、季節や入居者の希望を取り入れた献立にしている。食材の準備、盛り付け、片付けなど入居者の力に合わせ作業をしている。時には出前を楽しんでいる。毎年、手作り弁当で花見に出かけていたが、今年度は中止になり事業所内で花見を行った。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調や摂取状況に合わせて、量や形、大きさを調整し提供している。水分量や摂取量を記録し確認し、不足しないよう気を付けている。カロリー不足が続くときには家庭医に相談し高カロリーの飲み物やゼリーなどで補っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。自力困難な入居者には介助している。清潔保持と共に口腔内の観察を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりのパターンに合わせてトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレを設置し誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表で排便状況を確認している。起床時、牛乳を飲用したり散歩などの運動を心掛け、便秘の予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴出来る。最低でも週三回は入浴している。季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を楽しまれている。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や希望に合わせて午睡の時 間を設けている。日中しっかり活 動し夜間の安眠へとつながるよ う努力している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の説明書きで把握している。 臨時薬が出たときには申し送り ノートに記入し、全職員が把握 し、薬効の観察をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりのできる事や得意な 事を把握し、役割として一緒に 行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>体調や天候に合わせて散歩に出 かけている。感染症前は家族と 外食や墓参り、結婚式などに 出かけ楽しまれていた。現在 は控えている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。</p>	<p>預り金として出納帳を作り家族 より預かっている。外出時には 自分で支払いが出来るよう支 援している。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話機の子機を利用し、自室でゆっくり話ができるよう配慮している。手紙を希望される場合には、準備と投函の介助をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日差しが強い時にはレースのカーテンで日差しを和らげ、エアコンやヒーター、窓を開ける事で室温の調整を行っている。季節に合わせた壁画や花を飾り楽しめるよう支援している。日中は照明を落とし、自然の明かりで過ごしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファやリビングのテーブルなど、個々が過ごしやすいよう離れた場所に設置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には入居者の使っていたダンス、机、仏壇などを持ち込み、好みの花や写真を飾り、居心地の良い居室作りを心掛けている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	玄関には椅子を置き、座って自分で靴が履けるようにしている。廊下や階段には手すりを設置しトイレや浴室は表示している。		

V アウトカム項目(二階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい本浦

作成日 令和3年4月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議のメンバーや内容を充実させたい。	運営推進会議の充実を図る。	会議内容を検討し、工夫する。消防や警察、地域に関わりのある方へ参加をお願いする。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。